

伽葉山1322・4m (かしょうざん)

M・T

期 日：8月27日(木) 晴れ～雨～晴れ

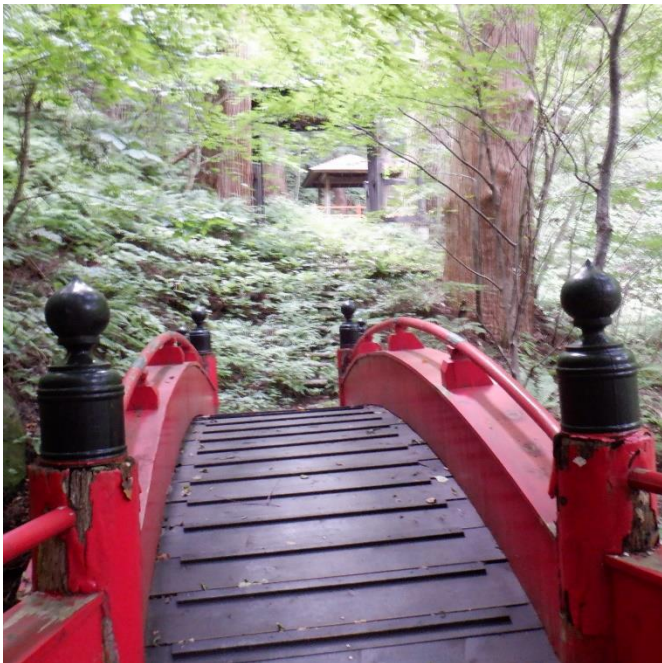
コース：伽葉山参道入り口6：19→弥勒寺7：15～7：31→和尚台との分岐8：22→
和尚台8：24～9：16 和尚台分岐に戻る→伽葉山山頂10：18→弥勒寺大駐車場
11：27

参加者：M・T

報 告：



弥勒寺から登るのが普通かもしれないが、時間が有る為、参道を歩いて弥勒寺に行き伽葉山に登る計画。



杉木立が続く参道とは程遠く歩いていても変化が有り面白い道だった。驚くほど立派な大杉が何本も散見された。

1時間弱で弥勒寺に到着。





日本一大きな天狗面。右の写真に登山道入り口が写っている。早朝の為、参拝者はおらず、事前下調べが不十分で登山道入り口がわからず、暫くうろうろする。本日1回目の失敗である。

赤い欄干の向こうに登山道が続くと思うが、渡り廊下が有る。跪いて渡るのか？靴を脱ぐのか？と悩んでいると、数段の階段が欄干の下に有る。やっと理解出来階段を降り数歩歩いて階段を上る。

短い地下トンネルを潜って着いた場所に登山道標識が有った。



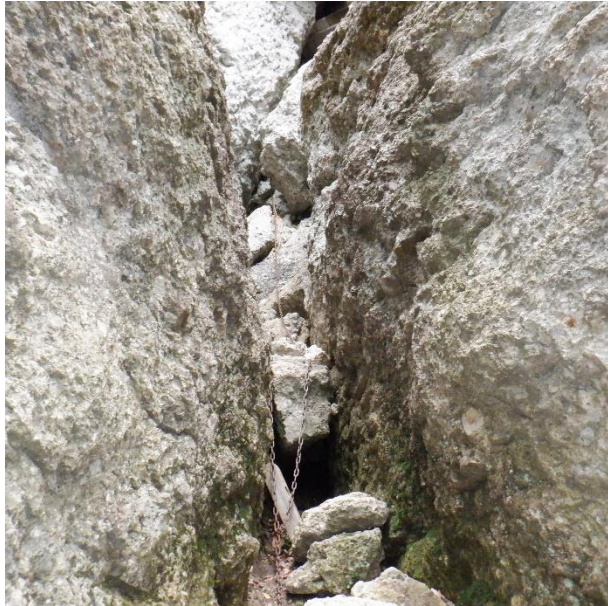
大きな倒木の右側を通り和尚台に向かう。この倒木は熊が冬眠できそうな大きな洞となっていた。私が熊ならここに寝る。





昨日に続いて、この辺りも、ブナ林で有る。

和尚台手前に有った弥勒寺奥の院



和尚台はこんな感じの岩場。狭い隙間を登り
明るいところに出るのですが、途中の鎖が通
っている岩が今にも落ちてきそうで、
心配。落ちてくることは無いだろうと、
心を決めてストックをしまいザックが岩にこ
すれないように考えながらよじ登る。
ここの通過が胎内くぐり。
心配した岩を拡大。



とりあえず、登り着いたところには社が有り羅漢様がいた。さて、伽葉山に続く登山道はと右に行ったり左に行ったりして探したが、登山道は見つからず。仕方なく岩の上をトラバースして次の鎖場へ。

垂直だが、手掛かり足掛かりは有り、そう難しくはなさそう。ただ、岩がもろそうに見える。

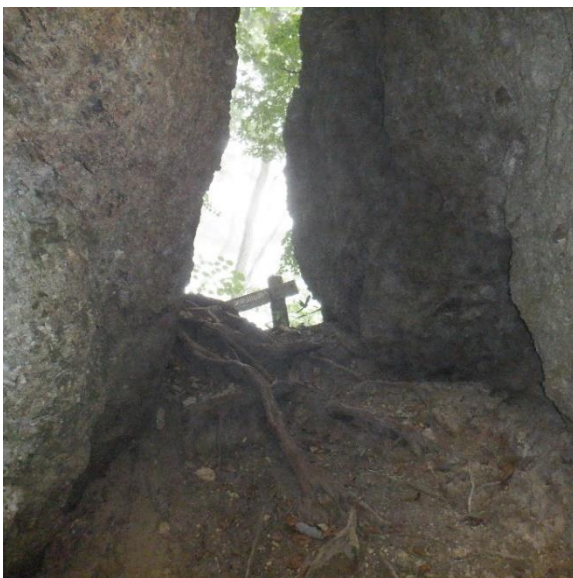
ザックを背負って、慎重に！



四角いプレートに手が届かず少しだけジャンプ。
ここは最初の1歩は手が痛かった。高所恐怖症の私が
どんどん上に登っていく。



いくら登っても伽葉山に続く登山道が有るはずがないのに、上へ上へと。登りながら考えていたことは、今来たこの道かえりゃんせ・・・かえりゃんせ・・・だった。この時の気持ちは登るより下りの方が怖いだろうと思っていた。しかし、降りなければ・・・・。決心して下りたが、なんと下りるのは登るほど怖くなかったという事実でした。怪我しなくて良かった。年寄りの無謀。これがこの日の第二の失敗でした。無事に登山道に戻ってきました。和尚台の岩場は八海山より難しく妙義の鷹戻しよりは少し簡単とネット情報。(帰宅後の調査)



普通の道もこんな感じでした。大岩の隙間を通りますが、ここは怖くありません。

御嶽山大神の石碑。

この少し前から雨が降り出す。岩場で雨に合わなくて良かったと心底思った。



山頂です。生憎の天気です。



山頂から尼ヶ禿山迄2時間35分の標識が有った。復路はおとなしく和尚台には登らず往路を戻る。次回が有れば玉原湿原から尼ヶ禿山經由伽葉山を歩きたい。